

<閉会のあいさつ>

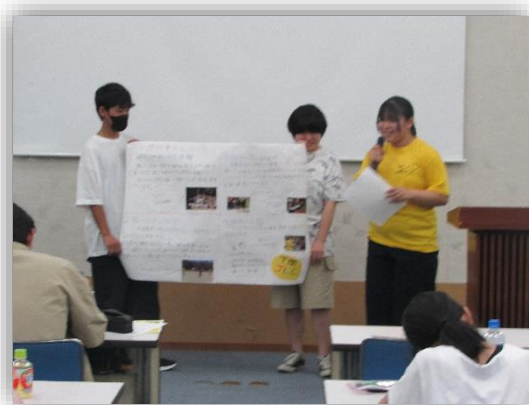
ふりかえりが修了証だと思ってください。世の中には多くの研修がありますが、修了証や認定証をもらって終わりというパターンが多いです。せっかく学んだ研修内容を実践の場で生かさなければ意味がありません。

ふりかえりはPDCAサイクルのC(評価)にあたります。この研修で何を学び、どんなことを考えたのかを文字にしたり、人に話したりすることによって明確にすることが次の計画や改善につながります。

安全啓発教育(KYT)も同じです。単位子ども会の活動にかかわっている人は全員研修を受けてほしいですし、それを活動の場で生かしてほしい。「危ないよ」と声をかけたり、石を拾ったり、「生きて働くチカラ」になってほしい。

ところで、ガールスカウトは山口県に約470人、全国で約4万人、ボーイスカウトは山口県に約940人、全国で約8万人、子ども会は山口県に約4万人、全国で約200万人。世界的にはガールスカウトが約1070万人、ボーイスカウトが約5700万人、子ども会は0。なぜかという、子ども会は日本独特の少年団体だからです。日本最大の少年団体である子ども会が今の時代にできることは何なのか。みんなで考えていきましょう。

子ども会活動は見方を変えれば全世代にわたる生涯学習ボランティア活動です。その特徴は自ら考え、判断し、行動すること。人から強制されるものではありません。みなさんが休日に自ら望んで参加したやる気や熱意には頭が下がります。その中で、他市の仲間と出会い、どんな活動をしているのかを知り合うことで活動の幅が広がるでしょう。



今日は全子連から河村先生が来てくださいました。河村先生は、全国JL研修会の講師ですから、みなさんが東京に行って研修したのと同じです。また、キャンプ協会から山下先生が来てくださいました。子ども会以外の団体の考え方から学ぶことが多かったと思います。

世の中にはいろいろな団体が主催する研修があります。ぜひ、機会を見つけて積極的に外部団体の研修に参加してください。そのことによって、地域リーダーとして成長していけるとと思います。